

みんなの
イマをパシャ!!

「街フォト スクラップ」



福祉



認知症見守りの 新たな担い手

8月25日、リナシティかのやで「地域包括ケア推進サポートワーカー養成研修修了式」が行われました。今回の研修で新たに45人がサポートワーカーとして認定され、これまで107人のサポートワーカーを養成。この研修を受講したサポートワーカーが所属する事業所は、認知症相談窓口「オレンジのまど」を開設し、認知症などに関する相談に対応します。

表彰



人命救助で 消防署長表彰

8月23日、鹿屋看護専門学校で、人命救助にかかる表彰式が行われました。同校の竹下和紀さん、園田雄志郎さん、谷口史保さんの3人は、6月に市内で発生した救急事故において、適切・迅速な救命措置を実施。日頃の学習で得た知識や技術などに基づく確かな対応で、尊い命が救われたことから、中央消防署長が表彰を行ったものです。

教育



通学路の危険防止 に看板を設置

8月30日、市内5小学校の通学路へ注意喚起の看板が設置されました。これは急カーブ等、市教育委員会が確認した通学路の危険箇所^{きんげん}に看板を設置し、ドライバーに注意を促すとともに児童の安全を確保するもの。この日は、道路からの看板の見え方などを確認しながら、鹿屋市交通安全協会が作成した看板を16か所に設置しました。

スポーツ



オリンピックメダリストが 子どもたちを直接指導



8月30日、中央公園プールで「オリンピックメダリストによる水泳教室」が開催されました。講師は、オリンピックに2回出場し、シドニーオリンピックで2個のメダルを獲得した中村真衣さん。この日は26人が参加し、水中での体の動かし方などの実技指導や、オリンピック体験談の講話などがあり、子どもたちは真剣に指導を受けていました。

漁業



地域漁業を担う 青年漁業士に認定

8月1日、県庁で「青年漁業士」認定証交付式が行われました。「青年漁業士」とは、地域の漁業や漁家加工^{ぎょか}などにおいて中核的に活動する、45歳未満の青年を知事が認定する制度。鹿屋市漁業協同組合の鶴瀬洋介さん(左から2人目)は、「かのやカンパチ」の生産・販売^{うのせようすけ}・地域活性化などの積極的な活動が認められ、県で100人目の青年漁業士に認定されました。